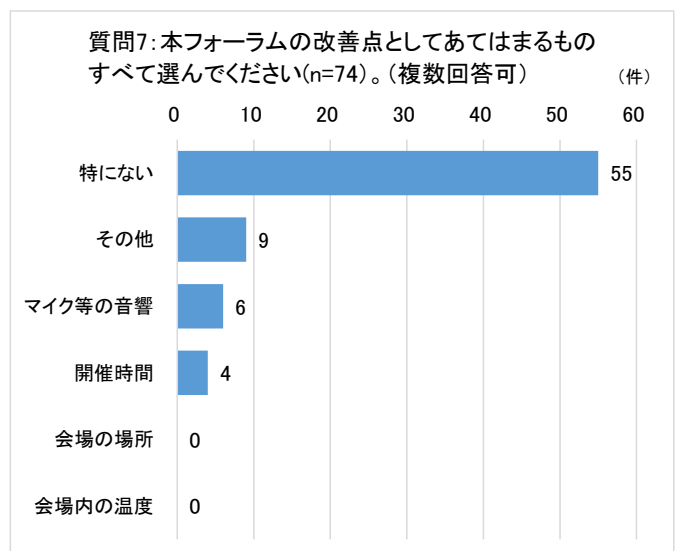
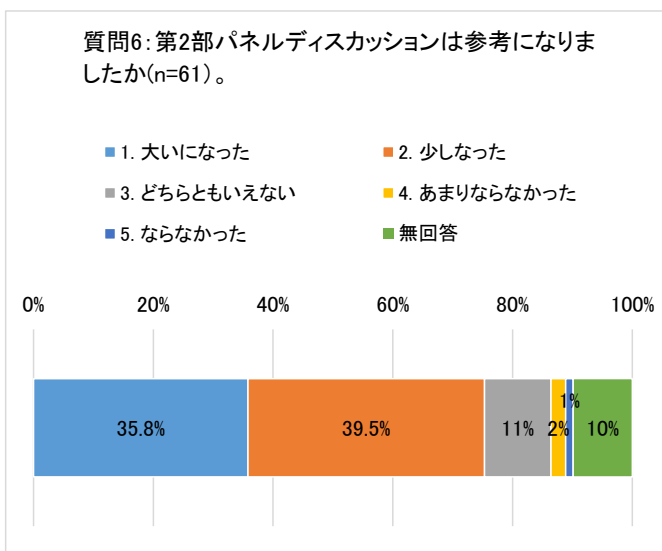
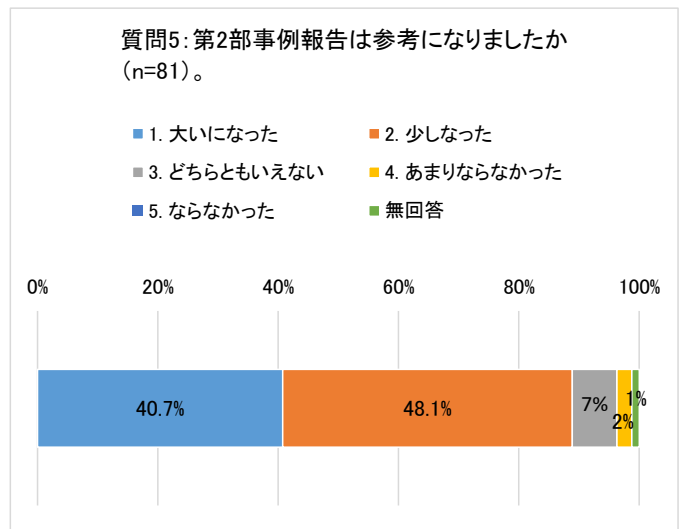
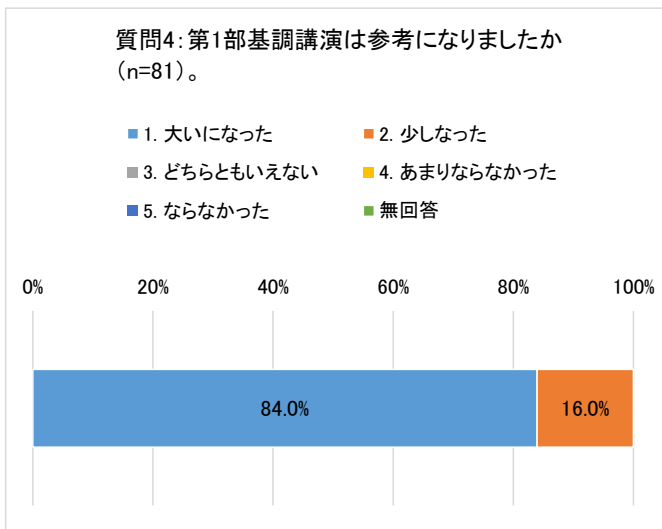
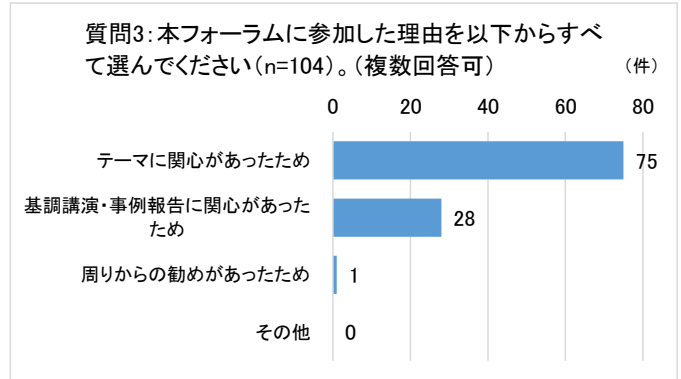
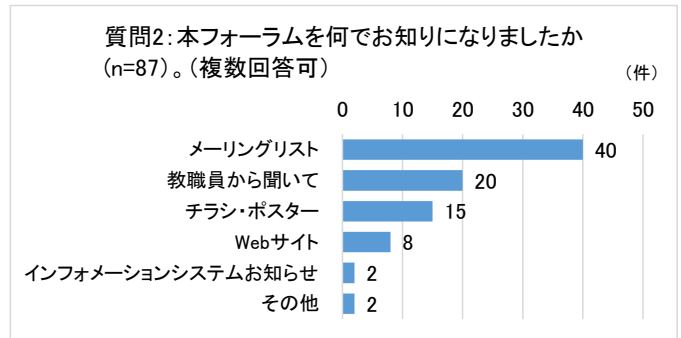
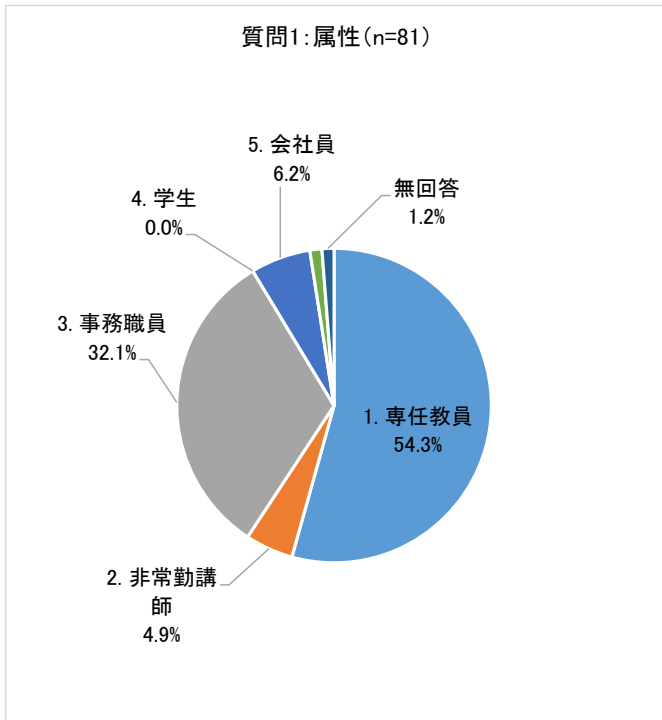


2019年2月9日開催 大阪府立大学・大阪市立大学・関西大学 AP合同フォーラム「今、あらためて学修成果とは何かを問う：第3期認証評価の先のFDを目指して」アンケート集計結果



その他、よかった点、改善すべき点、今後取り上げたいテーマなどを自由にご記入ください。

●全体

- ・ 得ることができた情報が期待どおりであったことに加えて、資料がダウンロードできる点、配布物が豊富である点、時間を守った進行、会場の利便性、飲み物の準備、質問・アンケートのオンライン化など様々な工夫がされていて、素晴らしいフォーラムでした。マネジメントされた皆様に敬意を表すと同時に、感謝いたします。
- ・ 学習成果について初めてだったので基本に触れることができ、よかったです、機会をいただきありがとうございます。専門学校に所属していますが、教育の改善のヒントにさせていただきます
- ・ 昨今のホットな話題である学習成果に関するテーマで開催をいただき、大変勉強となりました。
- ・ 改革や変化に対応がなかなかできない本学ですが、今回お話を拝聴でき、諦めずに少しずつやらなければと思いました。本日はありがとうございます。
- ・ 今年度も各大学の取組を拝聴することができ、大変勉強になりました。また来年度も活発な議論の場を設けていただけるのを期待しています。ありがとうございます。
- ・ 松下先生のお話は高等教育の今後の動向なども踏まえたお話で大変参考になりました。認証評価のお話もうかがえ有意義でした。ありがとうございました。
- ・ 今回はFDにおける質的調査の実践が主たるテーマであった感想ですが、FDには多彩なアプローチがあるように思いますので、今回とはまた違ったアプローチの事例をテーマにした企画が持たれることを期待しております。
- ・ 松下先生の基調講演非常にわかりやすかったです。大学事例は試行錯誤されておられる様子を知ることが出来ました。もう少し踏み込んだ議論も聞いてみたかったです。
- ・ 松下先生のご講演で頭が整理されました。統合の機会をいかに多く提供するか、課題としたいです。ありがとうございました。
- ・ 各大学の取り組みの概要がわかって、参考になった。報告者の立ち位置の違いも面白かった。
- ・ 学修成果の明視化という点において、知見を深めるとともに自大学の問題点や課題が見えてくるように感じた。少し残念だったのは、事例報告の際、お話が早口となり、その分野を極めた方の特殊なお言葉やキーワードが唐突に話されたため、理解に苦しみ、十分な理解が得られたかどうか不安である。
- ・ 質保障や可視化の問題、各大学のとりくみから「学びあう」のが大切と思います。3大学に限らず、学びあえるとよいと思います。
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございました。評価システム基準をどうつくり、どう活用するか、ヒントが見つかるというよりもその難しさを実感する会でした。
- ・ たくさんの大学の事例を聞けるのがよかった。生涯の学びについていろんな取り組みを知りたいです。そして、できれば高齢者と現役学生の共通の学びのような場も知りたいです。
- ・ 基調講演により頭がすっきりした感じになりました。また3大学の具体的な取り組みをうかがい、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 近々認証評価を受ける予定です。必要な事項について手さぐりで進めているのが現状です。本日はたいへん勉強になりました。ありがとうございました。企画・運営してくださった皆様、講師の方々に感謝申し上げます。
- ・ 学習成果の理解度が教員間で大きな格差を見せています。特に社会の動向にアンテナをはることなく旧態依然の状態や自分の体験が判断基準となっている者が今も少なからずいます。こうしたフォーラムの開催が社会の中で大学が存在し発展していくことを伝える上で貴重であると思います。ぜひ、これからも情報を発信してください。ありがとうございました。
- ・ 事例報告3大学について、報告内容の親和性が3大学間では少し乏しかったのではないのでしょうか。(基調講演の内容に3大学それぞれに関西大学さんが合わせようとしていたとは感じられましたが。)このような会を設定していただき、有難うございました。内容だけでなく、運営面、とりわけ時間通りの進行も大変勉強になりました。
- ・ 評価について考えるきっかけとなり、教育理念とのつながりもよくわかった。内発的に取り組める環境整備ができれば、と思います。
- ・ シンポジウムの中で取り上げる話題はその選択が難しい。今回のテーマである内部質保証をどう高めるか、学習成果の向上にどうつながるものを作っていくかについて考えられるとよかったのかもしれない。(少しディテール(それぞれの大学の現状の)にすぎような印象…)。今後に向けての何か…ですが…。(大学の取り組み)“認証評価”に依るレベルでなく、それをどう次の教育につなげるか、ですね。(事例を相互に評価しあう、などというのも面白かったかもしれません。)

●会場・環境

- ・ パネルディスカッション時に壇上の様子が映像で後ろのモニターにも映っていたので見やすくありがたかったです。長時間でしたが各セッション情報が多く、また議論も様々な角度から行われ、とても参考になりました。
- ・ せっかくPadletという素敵な仕組みがあったので、もっと登壇者とフロアが交流できるコーナーと時間があればうれしかったです。

●改善すべき点

- ・ 当日のアジェンダを資料に入れて欲しかった。
- ・ パネルディスカッションで網羅的な議論をいただき、大変勉強になりましたが、もう少し参加者からの質問に対するコメントにお時間を頂戴できると、さらに理解が促されると感じました。
- ・ パネルディスカッションのテーマや内容がやや不明確のように感じました。ざっくりと面白かったのですが。
- ・ シンポジウムそのものもアクティブラーニングをしてみても如何でしょうか？ずっと座って聴いているだけでなく、途中で4~6名1組のグループディスカッションの時間を設けるのはどうでしょうか？
- ・ 屋外の音が大きく、音声が聞き取りにくい事がありました。
- ・ Padletの使い方が最初わからず戸惑った。また、せっかくりアルタイムで書き込めるのももう少し双方向のやりとりができると良いと感じた。
- ・ 盛りだくさんすぎて、個々の内容を深める時間が少なかった。
- ・ 唯一の改善点は、受付が会場とは別の階であるのに、それがきちんと周知されていなかったことです。
- ・ 動画配信をしていただきたいです(遠隔地にある大学なので)
- ・ 少し長く感じられた。
- ・ wifiはありがたいが、うまく設定できなかった。(関大webサイトが表示されず。)
- ・ 議論のマネジメントより自分が話したい人は司会に向かないのでは？+時間のマネジメントが出来ない。

●今後取り上げてほしいテーマ

- ・ 引き続き内部質保証の仕方など。SAへの研修内容や選抜の仕組みなど。
- ・ 学修時間の増大に関する取り組みについて
- ・ 学生による授業評価について掘り下げて取り上げてほしいです。